

京都大学 生存圏研究所

平成17年度後期信楽MURレーダー観測共同利用研究申請課題採択一覧

9月9日付け 委員会承認

A:対流圏・成層圏

整理 番号	課題種類等 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究代表者	研究 課 題	研究協力者数	新規・継続	備考
1	17-A01 後期 A:対流圏・ 成層圏	橋本 学	高サンプリングGPSによる1日以下の時定数を持つ 変動のリアルタイム検出手法の開発	3名	継続	
		京都大学防災研究所・教授				
2	17-A02 後期 A:対流圏・ 成層圏	河野 宜幸	レーダーイメージング観測法の開発と解析手法の 評価	1名	新規	
		フランスToulon大学・日本学術振 興会海外特別研究員PD				
3	17-A03 後期 A:対流圏・ 成層圏	前川 泰之	衛星通信回線における降雨・風系および屈折率変 動に関する研究	1名	継続	
		大阪電気通信大学 情報通信工 学部・教授				
4	17-A04 後期 A:対流圏・ 成層圏	柴垣 佳明	MU・境界層・気象レーダーを用いた秋雨前線近傍 の中小規模擾乱の研究	4名	継続	
		大阪電気通信大学情報通信工 学部・講師				
5	17-A05 後期 A:対流圏・ 成層圏	佐藤 亨	デジタル受信機アレイを用いたMURレーダーの機 能向上の研究	3名	継続	
		京都大学大学院 情報学研究 科・教授				
6	17-A06 後期 A:対流圏・ 成層圏	Hassenpflug Gernot	Imaging atmospheric turbulence with widened MUR beam	1名	継続	
		京大生存圏研究所・JSPS研 究員				
7	17-A07 後期 A:対流圏・ 成層圏	橋口 浩之	顕著台風の中心付近における立体構造の観測	6名	継続	
		京大生存圏研究所・助教授				
8	17-A08 後期 A:対流圏・ 成層圏	橋口 浩之	Xバンドドップラーレーダーの開発によるメソ気象観 測	5名	継続	
		京大生存圏研究所・助教授				
9	17-A09 後期 A:対流圏・ 成層圏	古本 淳一	MURレーダー観測強化システムを用いたRASS、乱流 エコーの3次元構造観測	3名	新規	
		京大生存圏研究所・ミッシ ョン専攻研究員				
10	17-A10 後期 A:対流圏・ 成層圏	本研究所事業	MURレーダーによる中層大気標準観測 (GRATM AC)	- 名	本研究所事 業注1)	
		京大生存圏研究所・				

## B: 中間圏・電離圏他

整理 番号	課題種類等 (研究代表者の所属機関名・職名)	研究代表者	研究課題	研究協力者数	新規・継続	備考
11	17-B11 後期 B:中間圏・ 電離圏他	塩川 和夫	多波長イメージング・分光機器とMULレーダーによる 超高層大気の同時観測	7名	継続	
		名古屋大学太陽地球環境研究 所・助教授				
12	17-B12 後期 B:中間圏・ 電離圏他	渡部 潤一	しし座流星群の観測	3名	継続	
		自然科学研究機構 国立天文台 ・助教授				
13	17-B13 後期 B:中間圏・ 電離圏他	堤 雅基	MULレーダーによる改良型流星観測の開発	5名	継続	
		情報・システム研究機構 国立極 地研究所・助手				
14	17-B14 後期 B:中間圏・ 電離圏他	川原 琢也	MULレーダーとNa温度ライダーによる、流星観測時 中間圏界面の温度/風変動の同地点同時観測	2名	継続	
		信州大学工学部・助手				
15	17-B15 後期 B:中間圏・ 電離圏他	斎藤 享	MULレーダー多ビーム超多チャンネルイメージング 観測によるE領域プラズマイレギュラリティの空間構 造の研究	2名	継続	
		情報通信研究機構・専攻研究員				
16	17-B16 後期 B:中間圏・ 電離圏他	長澤 親生	超高層大気のMULレーダとナトリウムライダーによる 同時観測	4名	継続	
		首都大学東京 情報通信システ ム工学コース・システムデザイ ン学部・教授				
17	17-B17 後期 B:中間圏・ 電離圏他	寺沢 敏夫	前方散乱多点流星電波観測による流星軌道観測 法の研究	3名	新規	
		東京大学大学院 理学系研究科 ・教授				
18	17-B18 後期 B:中間圏・ 電離圏他	阿部 新助	複合流星群(おひつじ座・みずがめ座、しぶんぎ座 流星群)の軌道観測	13名	継続	
		神戸大学大学院 自然科学研究 科・COE研究員				
19	17-B19 後期 B:中間圏・ 電離圏他	家森 俊彦	地磁気変化における電離層電場・風の影響と沿磁 力線電流効果の分離	4名	継続	
		京都大学大学院 理学研究科・ 教授				
20	17-B20 後期 B:中間圏・ 電離圏他	中村 卓司	新システム流星観測によるML I領域風速の水平構 造の観測	1名	新規	
		京都大学生存圏研究所・助教授				
21	17-B21 後期 B:中間圏・ 電離圏他	中村 卓司	中間圏乱流散乱エコーの衛星同時観測	2名	継続	
		京都大学生存圏研究所・助教授				
22	17-B22 後期 B:中間圏・ 電離圏他	山本 衛	MULレーダー、LTPR、GPS-TECによる電離圏E領域 F領域カップリング の研究	4名	継続	
		京都大学生存圏研究所・助教授				
23	17-B23 後期 B:中間圏・ 電離圏他	本研究事業	MULレーダーによる電離圏の標準観測	- 名	本研究事業 注2)	
		京都大学生存圏研究所・				

平成17年度後期信楽MULレーダー観測共同利用研究申請課題採択一覧

9月9日付け 委員会承認

O:海外分

課題番号 整理番号	研究課題 研究代表者・研究代表者の所属機関名・海外申請者:国名	備考
2005-O24 24	MU radar observations of turbulence in the tropo-stratosphere using High Resolution Spatial Imaging techniques (possibly during a tropopause folding episode)  Hubert Luce "Laboratoire de Sondages Electromagnetiques de l'Environnement Terrestre, Universite de Toulon et du Var, CNRS フランス	
2005-O25 25	Multiple-frequency and multiple-receiver experiment with the MU radar  Jenn-Shyong Chen "Department of Electronic Engineering, Chienkuo Technology University 台湾	

注1)、注2)は生存圏研究所の事業として行う標準観測である。それぞれの観測時間を下記に示す。

注1):原則として、毎月5日間(月～金曜日)実施する。100時間×6ヶ月＝600時間。

注2):原則として、毎月4日間 Incoherent Scatter Coordinated Observation Day に合わせて年間9回実施する。

本年度 後期 には4回実施する予定である。96時間×4ヶ月＝384時間。